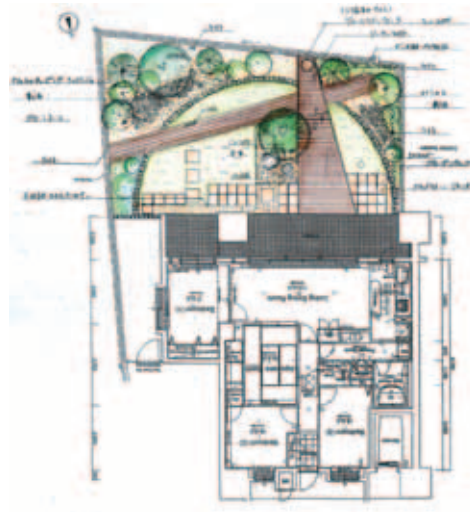
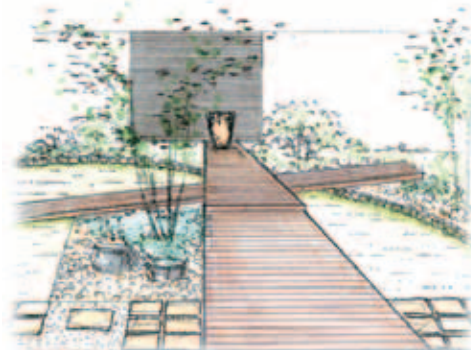


マンションの専用庭に「橋」をめぐらして
T様邸

盛岡は市内に川と橋が多いことで有名。その美しい情景をマンションの専用庭に再現。交差する木のデッキを橋に見立て、中津川を遡上する鮭を小石で表現するなど、遊び心満載の空間になりました。室内から眺めるだけでなく、外に出てデッキを歩いたり、テラスで家族団楽を楽しんだりできる、アクティブな庭でもあります。



【庭の全景】
芝生の中に、橋に見立てた木のデッキが交差するという、ユニークな構成。要所にあしらわれた天然石や植木は和のテイストのものが多く、新和風な感覚の庭に仕上がっています。



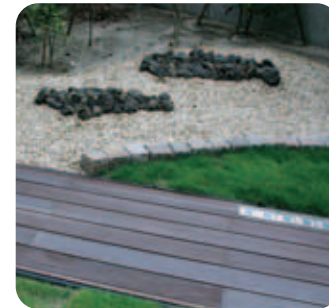
【庭から家を見る】
中央のデッキからリビングの方を見たところ。デッキはリビング前のテラスにつながっています。アウトドアでの団楽も楽しめそう。



【フォーカルポイント】
庭の中央を貫くデッキの先には横格子のヴェールラインがあしらわれ、和の落ち着いた感じさせるアクセントに。



【石のあしらい】
石も小ささまざまな使い分けて、こんな存在感のある一角を。



【鮭、ソーラー照明】
中津川の鮭を黒石で表現。地元ならではの遊び心が楽しい。デッキについているのはソーラー照明。



【床材で庭に変化を】
木のデッキ以外にも、飛び石を置くなどして、庭のあちこちを歩けるように工夫。さまざまな床材を使い分けて変化をつけ、マンション専用庭の狭さを感じさせません。

事例ノート. CASE 2

岡山県岡山市
株式会社 エスティグリン 様

造園出身ならではの緑あふれるプランが持ち味
今後増加するリフォームにも目を向けて



代表取締役
塚村清四郎様

親会社である塚村造園を創業したのは30年ほど前。以来、公共事業やハウスメーカーからの紹介を中心に業務を行ってきました。しかし18年前に親会社を息子に譲って、新たにエンドユーザー様向けに当社を設立。展示場のオープン時には地元のタウン誌に広告を打ち、オープンフェアの新聞折り込みチラシも配布しました。もともと造園会社がある程度知られていたこともあって、来店客はオープン当初から結構多かったですね。当社のプランの特徴は、やはり造園出身なので、植物をふんだんに使ったナチュラルな庭づくりです。和風庭園も得意です。最近の傾向としては、新築が頭打ちになる一方で、リフォームをご希望される方が増えています。リフォームは新築と比べて予算に余裕がある場合も多いので、積極的に取り組んでいます。リフォーム提案のコツは、元の庭石とか屋根瓦とか、なにが既存のものの一部を新しいプランの中で生かしてあげること。お客様にとって思い出にもなるので、非常に満足していただいています。スタッフは、私のほかはすべて女性で、営業2名、図面担当が1名です。実績は月に3~5件。ほぼ100%エンドユーザーのお客様です。アフターサービスとしては、お世話になったお施主様を招待して盆栽の講習会を行ったことがあります。また、普段から機会があればお宅に立ち寄りなどして、枯れそうな木をどうしたらいいとか、剪定の仕方など、庭木のアドバイスをしたりしています。勉強や情報収集はとくに意識してやっていますが、庭づくりには決まった方程式はありませんから、長年培った自分の感性を大切にしています。あとは誠意ですね。これからもつねに一生懸命な気持ちで、お客様のご要望にお応えしていきたいと思っています。

女性としての生活感を大切に
ご要望に添った提案を

来店されたお客様を担当しています。営業は難しいですが、誠心誠意取り組んでいます。工事が終わり、お客様が「きれいになった。よかった」などと喜んでくださると、本当にうれしいですね。女性同士、奥様と生活感を共有できるので、具体的なお話がしやすく、より本音のご要望を引き出してキメ細かいご提案をしていきたいと思っています。

ガーデンプランナー 安田未来様



展示場の案内パンフレット。バーベキューハウスをはじめ、園内はどこでもお客様が自由に使えるとのこと。小グループの集まりや屋外パーティなどに活用を呼びかけています。



350坪の展示場には、緑とともに和洋さまざまな生活提案が。入り口付近にはM.シェードも設置され、お客様の反応も上々です。

